

# パネルディスカッション 「国際協力」x「BOP」x「キャリア・パス」 について考える

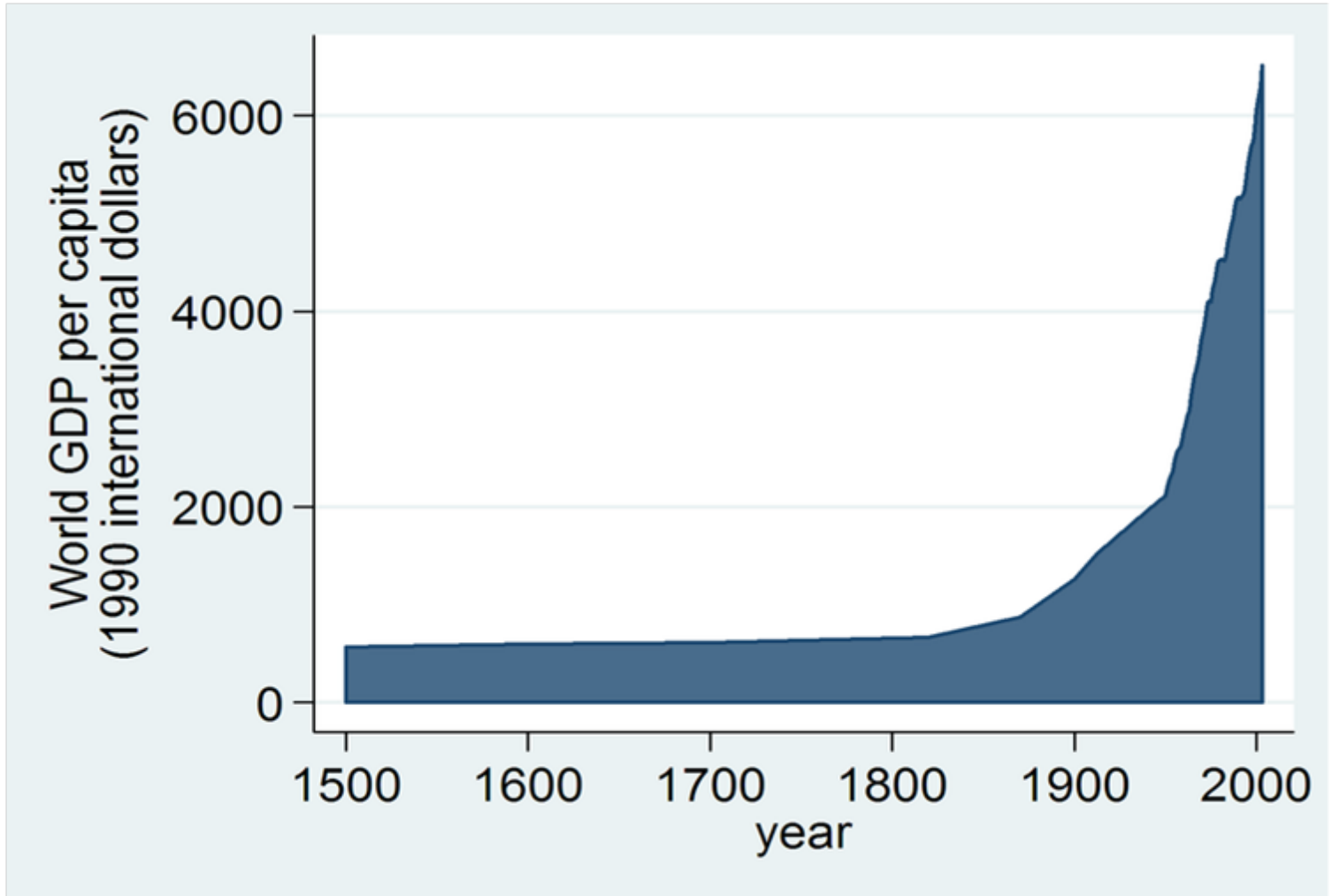


国際協力3フォーラム合同オフ会  
2010年8月1日  
国際協力機構(JICA) 山田哲也

## ■ 自己紹介：山田 哲也（やまだ てつや）

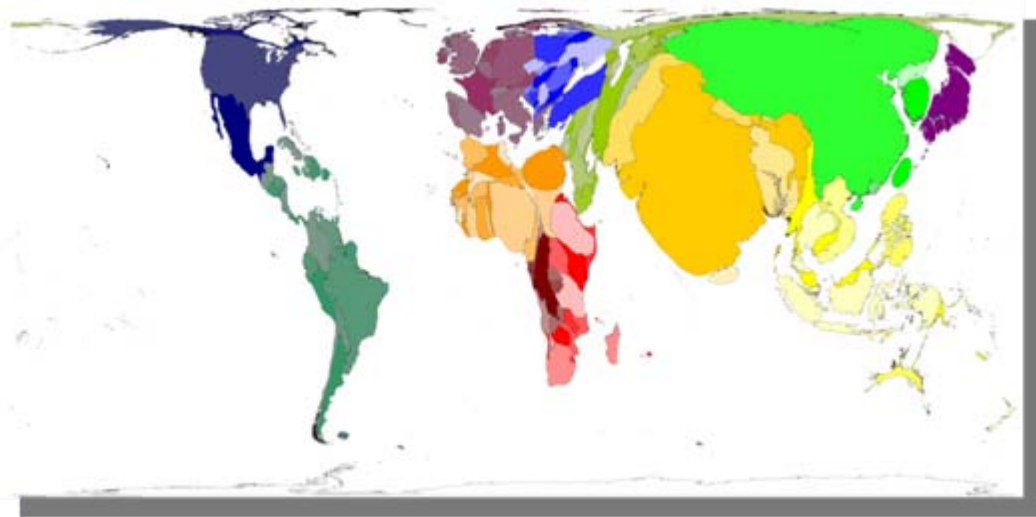
- 1994年 海外経済協力基金（OECEP。当時）採用
  - 1999年 OECEPと日本輸出入銀行統合  
⇒ 国際協力銀行（JBIC）発足
  - 2000～2002年 在ウズベキスタン日本大使館出向
  - 2008年 JBIC（ODA部門）とJICAが統合、新JICA発足
  - 現在 民間連携室連携推進課兼海外投融資課
- 
- ✓ 主に旧ソ連の中央アジア、コーカサス諸国や民間セクターへの投融資業務を担当
  - ✓ 現在民間連携室連携推進課兼海外投融資課 勤務

# ■ 世界は確実に豊かになった



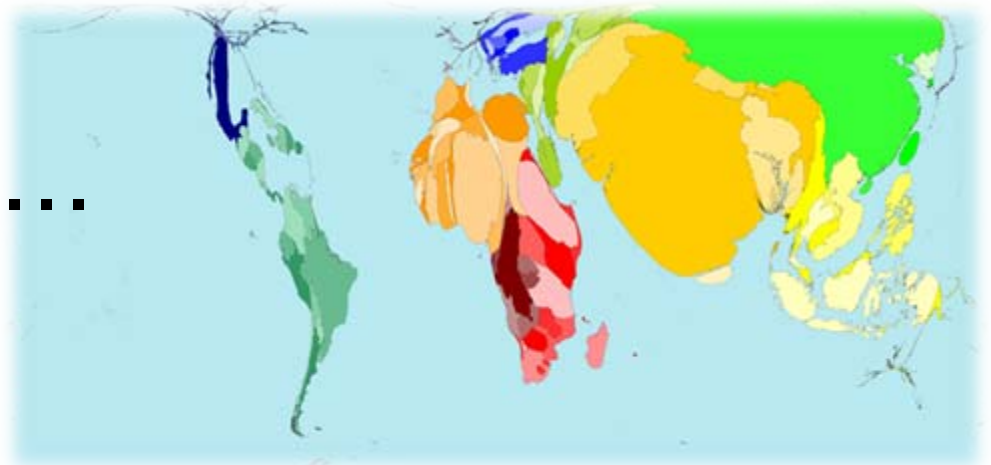
出典:OECD

# ■しかし世界中が豊かになったか・・・



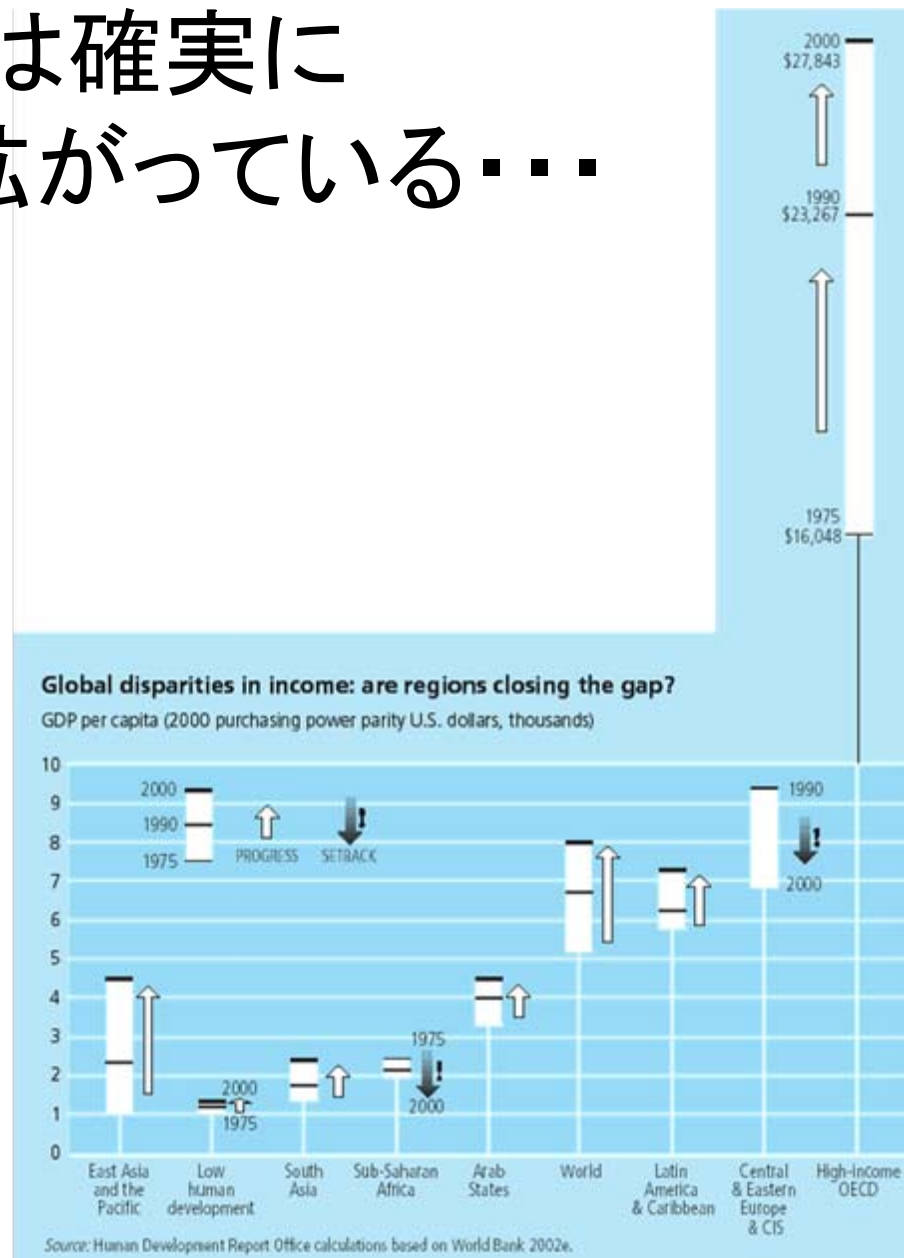
人口で見ると・・・

所得レベルで見ると・・・  
(1日10ドル以下)



出典: WORLDMAPPER

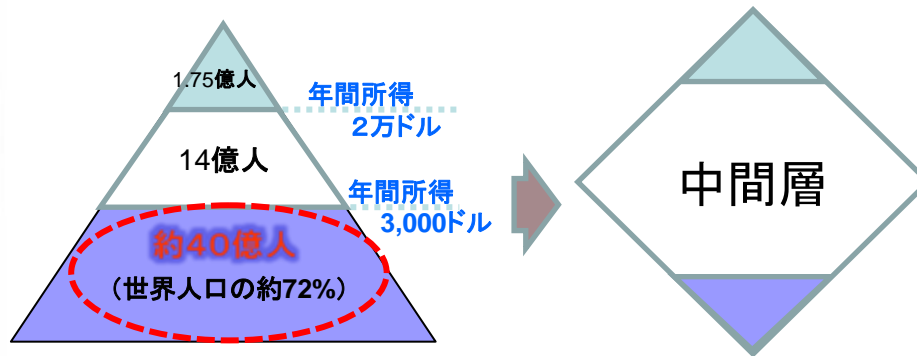
# 格差は確実に 広がっている...



出典: Human Development Report Office

# ■ BOPビジネスとは①: BOPビジネスの定義

## <BOPビジネスの一般的定義>



出典: Hammond, A, L, et al (2007) *The Next 4 Billion*. World Resource Institute, IFC  
C.K.Praharad (2005) 「ネクスト・マーケット」 Wharton School Publishing

**BOP (Base of the Pyramid) ビジネス**とは、貧困層のニーズを満たすための製品・サービスの提供と貧困層の市場への参加促進を行うもの。企業が利益を上げ持続的に事業を行いつつ貧困削減等の開発課題の改善に寄与し得るものとして、注目されている。貧困層のニーズ充足に加え、所得向上等を通じた同層の自立促進により貧困層を削減し中間層の拡大を目指す。

## <BOPビジネスの一般的類型>

- ① 貧困層を消費者層と捉えるもの (BOP as consumers)
- ② 貧困層を Value Chain の中に捉えるもの (BOP as employees, entrepreneurs etc.)

# ■ BOPビジネスとは②: BOPペナルティについて

## ◆ BOPペナルティ(貧しいがゆえの不利益とは)

- 貧困層の消費者としての市場参加を阻むボトルネック
- BOPビジネスにより解決すべき対象
- BOPペナルティが存在する具体的理由は・・・  
(例) 競争の不在、中間搾取、アクセス未整備(インフラ欠如等)、対等な関係の不在 etc.

【表】インドにおけるBOPペナルティの例

| 項目                    | 地方部<br>(ダラビ) | 都市部<br>(ウォーデン・ロード) | 格差<br>(貧困ペナルティ) |
|-----------------------|--------------|--------------------|-----------------|
| 利子(%)                 | 600-1,000%   | 12-18%             | 53倍             |
| 水道水(1m <sup>3</sup> ) | \$1.12       | \$0.03             | 37倍             |
| 電話(1分)                | \$0.04-0.05  | \$0.025            | 1.8倍            |
| 下痢止薬                  | \$20.00      | \$2.00             | 10.0倍           |
| コメ(1kg)               | \$0.28       | \$0.24             | 1.2倍            |

出典: "The Fortune at the Bottom of the Pyramid  
- Eradicating Poverty Through Profits" 2005 C.K. Prahalad



# ■ BOPビジネスとは③: 我々はどこにいるのか？

|        | 現状                   | BOPビジネス<br>実施フェーズ                   | 中間フェーズ<br>(Emerging<br>Markets) | 成長市場    |
|--------|----------------------|-------------------------------------|---------------------------------|---------|
| 消費者ニーズ | Basic Human Needsが中心 | BOPビジネスの実施<br>⇒ ニーズの多様化             | ニーズの多様化<br>ニーズの高度化              | ニーズの創造  |
| 市場     | BOPペナルティ有            | BOPペナルティ克服<br>⇒ 貧困層にとり「公正な市場」の出現    | Volume Zone?                    | 飽和？     |
| プレイヤー  | Public Sector        | PPP<br>(Public-Private Partnership) | PPP~<br>Private                 | Private |

- ✓ BOPビジネスの主たる対象はBasic Human Needs関連が中心  
(但し、ICT分野なども大きなBOPビジネスの市場が存在)
- ✓ かかる分野は従来から開発援助機関、公的部門、NGOなどの支援の対象
- ⇒ BOPビジネスにおいてはビジネスの特性(持続性、機動性、柔軟性、革新性、拡張性等)を活かした取り組みが期待される
- ⇒ 民間企業、援助機関やNGO等との協働が必然



# ■ BOPビジネスとは④: BOPペナルティ解消法

## ◆アプローチ① Traditional な手法 (正攻法)

- インフラ整備
- 雇用機会創出、所得向上  
(初等教育、職業訓練、産業政策 etc.)

- 公的なセクターによる大規模な interventionが必要
- 時間がかかる

- 民間企業による機動的対応が可能
- 但し、公的支援も必要

VS

## ◆アプローチ② Innovativeな手法 (BOP Biz)

### BOPビジネスの実施

- 3Aの実現  
(Affordability, Access, Availability)
- BOP市場のイノベーション12原則
  1. コストパフォーマンスを劇的に向上
  2. 最新の技術を活用してハイブリッド型の解決
  3. 規模の拡大を前提とする
  4. 環境資源を浪費しない
  5. 求められる機能を一から考える
  6. 提供するプロセスを革新する
  7. 現地での作業を単純化する
  8. 顧客の教育を工夫する
  9. 劣悪な環境にも適応させる
  10. 消費者特性にあうユーザーインターフェース設計
  11. 貧困層にアプローチする手段を構築する
  12. これまでの常識を捨てる

出典: "The Fortune at the Bottom of the Pyramid  
- Eradicating Poverty Through Profits"  
2005 C.K. Prahalad

公的機関の役割: ① + (increasingly) ② (との連携)

# JICA & BOPビジネス

## ◆解消すべきボトルネック

| ファイナンス<br>組成上の問題点  | 案件組成に係る<br>コスト高  | 事業実施上の<br>不確実性  |
|--|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・期間のミスマッチ</li> <li>・高い事業リスク</li> <li>・長期で安定的な<br/>リスクマネー提供者、<br/>レンダーの不在</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・途上国の情報不足</li> <li>・事業実施経験不足</li> <li>・インフラ欠如(ハードに<br/>限らず人材等ソフトも)</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・完工リスク</li> <li>・法令／政策／制度変更<br/>リスク</li> </ul> |

## ◆JICAのアディショナルリティー、支援ツール

- ・ 長期でゆるやかな条件の資金提供
- ・ 各種スキームで総合的に支援
- ・ 途上国での豊富な支援実績を通じて構築した各種ステークホルダーとの関係を活用し、リスクコントロール可能
- ・ 途上国におけるネットワーク・知見の提供

